

[CASE 06]

鈴木 美香さん

山形市女性消防隊

これまで、これからも
ずっと安心して暮らせる街に



山形市では平成7年の全国女性消防操法大会に出場するために女性消防隊を結成。大会後の2期生として入団した鈴木美香さんは、以来22年にわたって消防団活動に従事してきました。女性消防では県内第一号となる「応急手当指導員」の資格も取得し、さまざまな場所で講演や指導を行ってきたという鈴木さん。東日本大震災や近年頻発する豪雨災害などを経て、防災意識の高まりを実感していると言います。

「地域に密着した消防団ですが、女性消防隊の存在はまだまだ認知されておりません。山形市女性消防隊は、本部付け機能別消防として活動しております。応急手当指導をしていると、参加者から『分かりやすく良かった』と声をかけていただき『女性でも消防隊ってあるんですね』と言われる事があります。女性の観点から防災を考え、地域への貢献が出来る場所が女性消防隊です。女性でも、女性だから出来る事があります。もっともっと私たちの活動を知ってもらい『興味があるけど…』『やってみたい』と思ったら一歩踏み出して、一緒に活動する仲間を増やしていきたいですね。」

Q1 どんな活動をしていますか？

私たち女性消防隊では、地域の公民館や企業などで応急手当講習会の実技指導や、人が集まるイベントなどで広報したりと、防火・防災に関する知識やスキルを広めるための活動が主になります。オリジナルグッズを用意して出初式などで配布していますので、見かけたときには気軽に声をかけてほしいです。



Q2 消防団活動はどうやったら無理なく続けられますか？

仕事や家庭との両立で、家族の協力や時間の使い方などに工夫が必要になるかもしれません。消防団活動を通して、いろいろな人と出会い、普段では得られない経験ができます。小さな目標を持って、楽しみながら活動する事が大切だと私は思います。自分たちが暮らす街のために貢献できて、地域の人たちに感謝の言葉をいただけるのが何よりの励みです。



あなたの力を消防団に
貸してください!みんなで
防災力!みんなで地域を
守りましょう!



山形市消防団
ファイヤーレディ 花ちゃん

1

2

3

4

1. 令和5年出初式の式典の様子
2. ティッシュなどのグッズを配布しながらPR活動をしています
3. 「気をつけ! 敬礼!」と声をかける規律訓練の様子
4. 応急手当指導も継続。団員同士でもスキルを高めています